ソフトウェア取扱説明書

フォト・ナビゲーター
ImageMixer with VCD

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ビデオカメラの取り扱いについては、ビデオカメラの取扱説明書をお読みください。パソコンの取り扱いについては、パソコン付属の取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

はじめに

メモリーカードから読み込む

メモリーカードから読み込む(Macintosh)

フォト・ナビゲーターを使う

ImageMixerを使う Windows® & Macintosh

インターネットTV電話を楽しむ

その他

LYT1190-002A

目次

目次

インターネット
TV電話を楽しむ
(Windows®)

その他

ビデオカメラを接続する前に

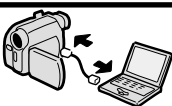
注意！

デジタルビデオカメラ（以下、ビデオカメラ）をパソコンに接続する前に、本書をよく読み、付属の CD-ROM から適切なソフトウェアをインストールしてください。
インストールせずにビデオカメラを接続したり、間違ったソフトウェアをインストールしてから接続すると、画像などをパソコンに読み込めなくなることがあります。

■パソコンで使うときの流れ

ドライバなどをインストールする

付属の CD-ROM からドライバやアプリケーションをインストールします。

▼

ビデオカメラを接続する

付属の USB（Universal Serial Bus）ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続します。

▼

パソコンを操作する

次の取扱説明書を参考に、パソコンを操作します

- 本書
- フォト・ナビゲーター取扱説明書（オンラインマニュアル）
- ImageMixer のオンラインヘルプ
- パソコン付属の取扱説明書とヘルプ

こんなこともできます

気に入った作品はメールで送りましょう

せっかく撮影した映像がカセットテープやメモリーカードのなかで眠っていませんか？

素敵な場面を撮影できても、テレビにつないで鑑賞するのでは観客は家族とお客様だけです。遠くに住んでいる親戚や友人たちには観てもらえません。大切な作品が入ったカセットテープやメモリーカードですから、譲ってしまうわけにはゆきません。

そんな悩みはパソコンで解決できます。USB ケーブルで接続すると、ビデオカメラにある映像をパソコンにコピーできます（☞P.21、32、72）。あとはメールに添付するだけで、あなたの作品をみんなに届けることができます（☞P.45）。

私のパソコンでもできるでしょうか？

USB 端子のあるパソコンならまず大丈夫です（☞P.12、28、36、48、82）。

映像データは大容量なのでメールに向かないのでは？

付属のソフトウェアでファイルサイズを変更できます（☞P.45、76）。

アルバムに貼って閲覧しましょう

よく似たファイル名ばかりで、どのファイルがどんな画像だったのか判らなくなってはいませんか？

付属のソフトウェアを使うと、アルバムに写真を貼るようにパソコンで画像を一覧表示できます（☞P.45、76）。アルバムをめくるように鑑賞できるので、メールで送りたい画像を探すときなどに役立ちます。

アルバムのコピーを配布できますか？

Web ページの形式でアルバムを保存できます（☞P.45）。この形式なら、Web ブラウザがあれば誰でも、どんなパソコンでもアルバムを閲覧できます。ホームページにアップロードして、インターネットであなたの写真展を開くこともできます。
なお、著作権法により、権利者に無断で画像を配布することは禁じられています。配布できる画像であることを、あらかじめご確認ください。

その他の活用方法

あなただけのムービーを編集できます

パソコンに読み込んだ動画や静止画を加工したり、並べ替えたりして、あなただけのオリジナル・ムービーを編集できます（☞P.77）。ビデオカメラで撮影し、パソコンで編集する。これであなたも映画監督です。
完成した作品は、パソコンで再生するほか、メールで送ったり、インターネットで上映できます。

Video CDを作成できます

パソコンに読み込んで編集したら、次はVideo CDに動画を書き込んでみましょう（☞P.78）。650MBのCDで1枚に最大64分の動画を記録できるので、メールでは送りにくい長時間の作品も、Video CDなら気軽に送ることができます。
ほとんどのDVDプレーヤで再生できるので、パソコンを持たない人に届けたいときにも役立ちます。
（Video CDの作成には、パソコン用のCD-Rドライブが必要です。）

テレビカメラ付きのパソコンになります

あなたのパソコンのテレビカメラとして、ビデオカメラを活用できます。
たとえば、ビデオを撮影するときに、カセットテープの代わりにパソコンに録画できます（☞P.68）。また、Windows® NetMeetingなどと組み合わせて、インターネットTV電話を楽しむことができます（☞P.81）。
（Windows® NetMeetingでインターネットTV電話を行うには、MSN Messengerへの登録が必要です。）

本書の読みかた

あなたの目的は？

ここでは、パソコンを使う目的別に、本書をご案内します。

■静止画ファイルを、ビデオカメラのメモリーカードからパソコンにコピーしたいとき。

Windows®をお使いの場合　：第１章をお読みください（☞P.11）
Macintosh をお使いの場合　：第２章をお読みください（☞P.27）

■ビデオ映像を、ビデオカメラのテープからパソコンにコピーしたいとき。

第４章をお読みください（☞P.47）

■パソコンにコピーした静止画を、アルバムのように鑑賞したいとき。

Windows®をお使いの場合　：第３章または第４章をお読みください（☞P.35、47）
Macintosh をお使いの場合　：第４章をお読みください（☞P.47）

■パソコンにコピーしたビデオ映像を編集し、Video CD を作りたいとき。

第４章をお読みください（☞P.47）

■ビデオカメラをパソコン用の TV カメラとして使いたいとき。

第４章をお読みください（☞P.47）

■メッセンジャーソフトを使って TV 電話のように通話したいとき。

Windows® をお使いの場合：第５章をお読みください（☞P.81）
Macintosh をお使いの場合：申し訳ありませんがご利用になれません

■付属のソフトウェアが正常に動作しないとき。

その他をお読みください（☞P.101）

記号の意味

本文には、次の記号が使われています。

操作上の注意などが書かれています。

使用中に起こりうるトラブルや、トラブルのように見える現象について書かれています。

使用上の制限や、知っていると便利な内容が書かれています。

☞ 関連するページを示しています。

次のページに説明が続きます。

著作権について

あなたが付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- Microsoft、Windows、NetMeeting、HotMail、MSN、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- Macintosh、iBook、Mac OS、QuickTimeは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。iMacは、米国Apple Computer,Inc.の米国およびその他の国における商標です。
- Pentiumは、米国Intel Corporationの登録商標です。
- ロキシオは、米国Roxio社の登録商標です。Toastは、米国Roxio社の米国およびその他の国における商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本書での画面表示について

- お使いのパソコンのOSの種類によっては、画面表示や操作方法が本書と異なることがあります。
- 本書では、CD-ROMドライブのドライブ名を(D:)としています。お使いのパソコンによっては、ドライブ名が異なることがあります。
- 「セットアップ」画面に「G．726デコーダ」がありますが、使用しません。

その他

- 本書に記載されているホームページアドレス（URL）は、本製品の発売時のものであり、変更されることがあります。

メモリーカードから読み込む(Windows®)

USB ケーブルを使って、メモリーカードの静止画ファイルをパソコンのハードディスクにコピーできます。
Windows®をお使いの場合にお読みください。

動作環境（お使いになれるパソコン）

次の条件を満たすパソコンは、USB ケーブルでビデオカメラと接続できます。メモリーカードの静止画ファイルをハードディスクにコピーできます。

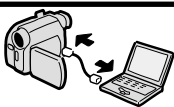
OS ： Windows® 98 プリインストール版
Windows® 98 Second Edition プリインストール版（以下、98SE）
Windows® Millennium Edition プリインストール版（以下、Me）
Windows® 2000 Professional プリインストール版（以下、2000）
Windows® XP Home Edition プリインストール版（以下、XP）
Windows® XP Professional プリインストール版（以下、XP）
CPU ： Intel® MMX® Pentium® 200MHz 以上
RAM ： 64MB 以上
端子 ： 標準装備の USB 端子

- パソコンの環境によっては、正常に動作しないことがあります。

パソコンに読み込むまでの流れ

ドライバをインストールする (☞ P.14)

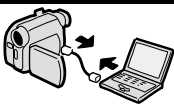
付属の **CD-ROM** からドライバをインストールします。

- USB マスストレージクラスドライバ(Windows® 98/98SE のみ)

ビデオカメラを接続する (☞ P.17)

USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続します。

- USB マスストレージクラスドライバをインストールする前に接続すると、異なるドライバがインストールされることがあります。(☞P.102)

画像をパソコンにコピーする (☞ P.21)

ビデオカメラのメモリーカードから、静止画ファイルをパソコンにコピーします。

ビデオカメラを取りはずす (☞ P.22)

ビデオカメラをパソコンから取りはずし、電源を切ります。

画像をパソコンで扱う (☞ P.25)

静止画をパソコンで見ることができます。

ドライバをインストールする

USB マスストレージクラスドライバのインストール

ビデオカメラのメモリーカードがパソコンで読み書きできるようになります。

Windows® Me/2000/XP の場合

ドライバのインストールは必要ありません。USB ケーブルで接続するだけでビデオカメラのメモリーカードをパソコンで読み書きできます。

Windows® 98/98SE の場合

USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続する前に、USB マスストレージクラスドライバを次の手順でインストールしてください。

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

しばらくすると「重要なお知らせ」が表示されます。

- 「重要なお知らせ」が表示されないときは、「マイコンピュータ」をダブルクリックして CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

2 内容を確認し、「次へ」をクリックする

「セットアップ」が表示されます。

必ず、お読みください。

3 「USB マスストレージクラスドライバ」の隣の「インストール」をクリックする

インストール先を指定する画面が表示されます。

ソフトウェアの説明が表示されます。

4 「完了」をクリックする

しばらくすると「InstallShield Wizard」が表示されます。

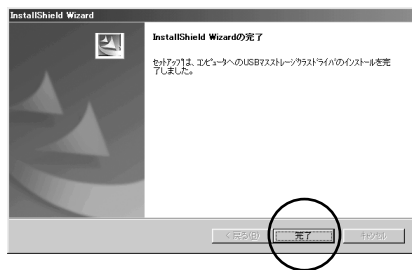
次へ続く

ドライバをインストールする

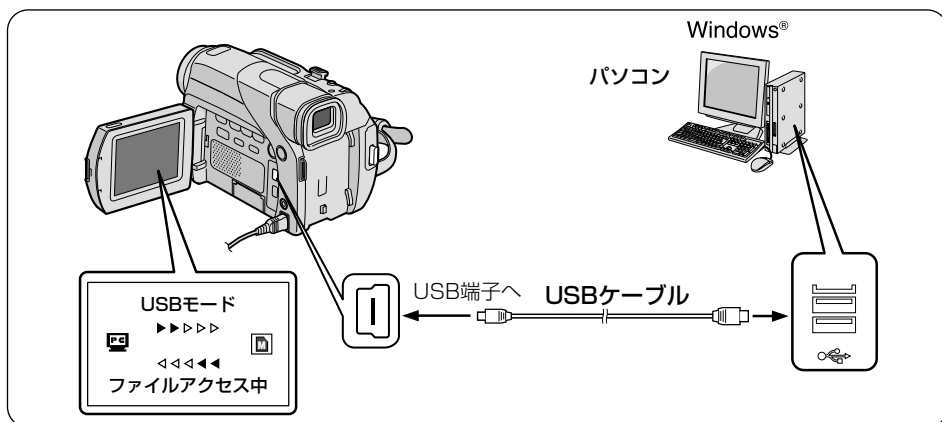
5 「次へ」をクリックする

しばらくすると「InstallShield Wizardの完了」が表示されます。

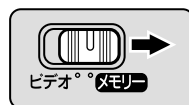
6 「完了」をクリックする

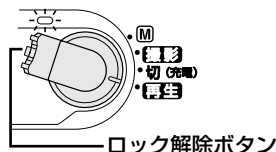
インストールが完了し、「セットアップ」に戻ります。

※インストールは完了しました。パソコンからCD-ROMを取り出してください。

ビデオカメラを接続する

USB ケーブルで接続する

1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

2 メモリーカードがビデオカメラに入っていることを確認する

3 ビデオカメラのモード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

4 ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「再生」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が入ります。

5 USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する

ビデオカメラの液晶画面に「USB モード」と表示されます。

ビデオカメラを接続する

接続を確認する

Windows® 98/98SE/Me/2000 の場合

デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、「リムーバブルディスク」アイコンが表示されていることを確認します。
「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックし、次の「メモリーカードの中を見る」（☞P.20）へ進んでください。

Windows® XP の場合

接続してしばらくすると、「リムーバブルディスク」が表示されます。
「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択して「OK」ボタンをクリックし、次の「メモリーカードの中を見る」（☞P.20）へ進んでください。

リムーバブルディスクが表示されないときは

ドライバをインストールする前にUSBケーブルで接続していませんか？

Windows® 98/98SEをお使いの場合、USBマスストレージクラスドライバをインストールする前にビデオカメラをUSB ケーブルで接続すると、異なるドライバがインストールされ、USBケーブルを使って静止画ファイルをパソコンに取り込めなくなる場合があります。
正しいドライバに更新する方法については、P.102をご覧ください。

正しく接続されていますか？

- ビデオカメラにACアダプターが接続され、電源が入っていることを確認してください。
- USBケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
- 電源付きのUSBハブを使うか、パソコン本体のUSB端子に接続してください。

USB端子はWindows® に認識されていますか？

- コントロールパネルの「システム」のプロパティで、ユニバーサルシリアルバスコントローラを使用可能に設定してください。

Windows® XPですか？

- 設定によって、自動的に表示されない場合があります。その場合は、「スタート」メニューの「マイコンピュータ」をクリックし、「マイコンピュータ」の中にある「リムーバブルディスク」をダブルクリックしてください。

- ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されている間は、絶対にUSBケーブルを取りはずさないでください。

- USBハブを経由してパソコンに接続すると、ハブとパソコンの相性によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。ハブを使用しないでパソコン本体のUSB端子に接続してください。
- USBケーブルの延長ケーブルは使用しないでください。
- 新たに購入したメモリーカード（付属のメモリーカードを除く）をご使用になる場合は、あらかじめビデオカメラでメモリーカードを初期化してください。パソコンでファイルをコピーできないことがあります。

メモリーカードの中を見る

※フォルダは、ビデオカメラが必要とするまで作成されません。

ご注意
- メモリーカードにビデオカメラで使えないファイルを保存したり、メモリーカードからファイルやフォルダを削除すると、ビデオカメラの動作に支障がでることがあります。ファイルを削除するときは、パソコンではなく、ビデオカメラで操作してください。

画像をパソコンにコピーする

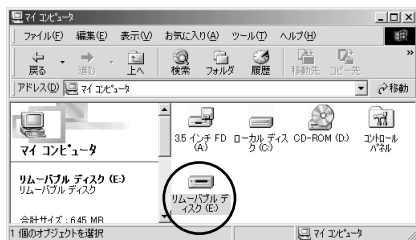
メモリーカードに記録された静止画のファイル（拡張子 JPG）を、パソコンにコピーできます。

1 新しいフォルダを「マイドキュメント」フォルダなどに作成し、フォルダ名を付けてダブルクリックする

- 「My Pictures」フォルダがあるときは、その中に作ることもできます。

2 「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」アイコンをダブルクリックする

- Windows® XP では、この手順は必要ありません。

メモリーカードの中のフォルダが表示されます。（☞ 前ページ）

3 「DCIM」フォルダの中からコピーするファイル（拡張子 JPG）を選ぶ

4 手順1で作成したフォルダに、ファイルをドラッグ＆ドロップする

ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示され、メモリーカードからパソコンにファイルがコピーされます。

- 「ファイルアクセス中」と表示されている間は、絶対に USB ケーブルを取りはずさないでください。

ビデオカメラを取りはずす

Windows® 98/98SE の場合

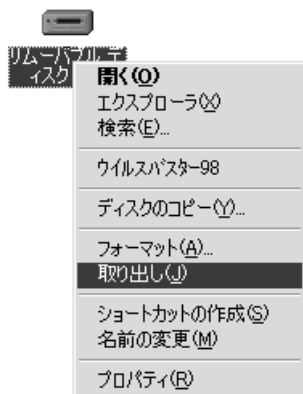
メモリーカードを交換するときやパソコンの電源を切るときは、USB ケーブルを取りはずしてビデオカメラの電源を切ってください。

1 ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されていないことを確認する

- 「ファイルアクセス中」と表示されているときは、消えるまでしばらくお待ちください。

USBモード
ファイルアクセス中

2 「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」アイコンを、マウスの右ボタンでクリックする

メニューが表示されます。

3 メニューの「取り出し」をクリックする

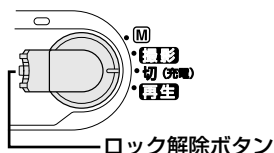
「リムーバブルディスク」アイコンが消えます。

- アイコンが消えない場合は、しばらく待ってから手順４へ進みます。

4 USB ケーブルを取りはずす

- メッセージが表示されたときは、「OK」をクリックします。

5 ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「切」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が切れます。

Windows® Me/2000/XP の場合

メモリーカードを交換するときやパソコンの電源を切るときは、USB ケーブルを取りはずしてビデオカメラの電源を切ってください。

1 ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されていないことを確認する

- 「ファイルアクセス中」と表示されているときは、消えるまでしばらくお待ちください。

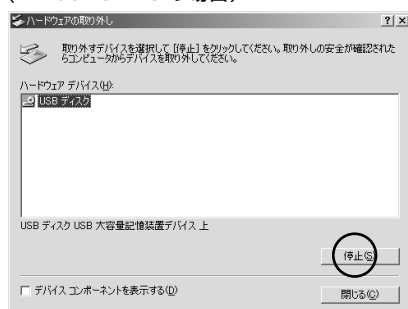
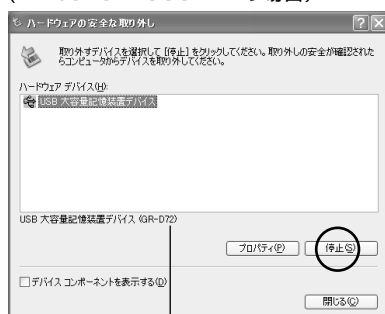
2 タスクバーの「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする

「ハードウェアの取り外し」が表示されます。

- 表示されない場合は、しばらく待ってから手順６へ進みます。

3 「USB ディスク」または「USB 大容量記憶デバイス」を選択し、「停止」をクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」が表示されます。

(Windows® Me の場合)

(Windows® 2000/XP の場合)

お使いのビデオカメラの機種名が表示されます。

次へ続く

ビデオカメラを取りはずす

4 「OK」をクリックする

安全に取りはずせることを知らせるメッセージが表示されます。

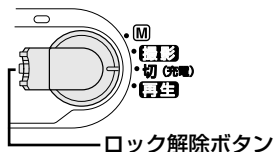
(Windows® Me の場合)　(Windows® 2000/XP の場合)

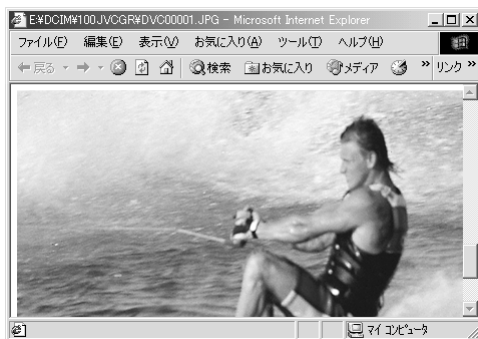
5 「OK」をクリックする

- OS によって画面は異なります。

6 USB ケーブルを取りはずす

7 ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「切」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が切れます。

画像をパソコンで扱う

JPEG形式のファイルを扱えるソフトウェア（Internet Explorerなど）をご利用ください。静止画ファイル（拡張子JPG）をダブルクリックすると静止画を表示できます。

● 静止画を印刷するには、ImageMixer（☞P.47）を使用するか、市販の画像処理アプリケーションをご購入ください。Internet Explorerで印刷すると、正しく印刷できないことがあります。

メモリーカードから読み込む (Macintosh)

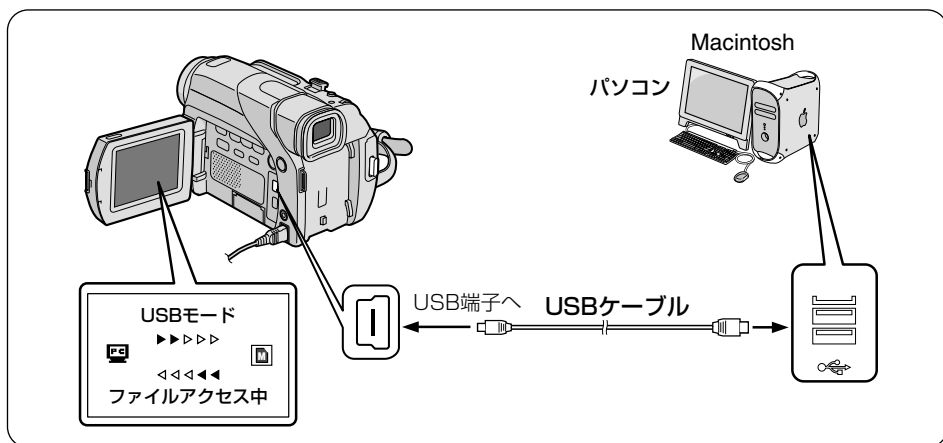
USB ケーブルを使って、メモリーカードの静止画ファイルをパソコンのハードディスクにコピーできます。
Macintosh をお使いの場合にお読みください。

動作環境（お使いになれるパソコン）

次の条件を満たすパソコンは、USB ケーブルでビデオカメラと接続できます。
USB ケーブルを使ってビデオカメラと接続すると、メモリーカードの静止画ファイルをハードディスクにコピーすることができます。

ハードウェア	：	USB 端子を標準装備する iMac, iBook, eMac, PowerMac G4, PowerBook G3, PowerBook G4
OS	：	Mac OS 9.0.4～9.2.2 （Mac OS X と Mac OS X の Classic には対応していません）
RAM	：	64MB 以上
その他	：	QuickTime ４以降

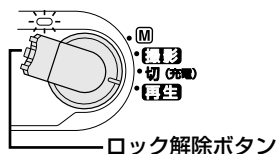
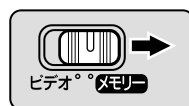
ビデオカメラを接続する

USB ケーブルで接続する

1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

2 メモリーカードがビデオカメラに入っていることを確認する

3 ビデオカメラのモード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

4 ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「再生」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が入ります。

5 USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する

ビデオカメラの液晶画面に「USB モード」と表示され、デスクトップにメモリーカードのアイコンが表示される。

次へ続く

ビデオカメラを接続する

- メモリーカードの名称は「名称未設定」になっています。ほかのディスクやフォルダと区別するために、別の名称に変更しておくことをお勧めします。

リムーバブルディスクが表示されないときは

Mac OS の 9.0.4 以降をお使いですか？

Mac OS 9.0.2 以前をお使いの場合、USB ケーブルを使って静止画ファイルをパソコンに取り込めない場合があります。
Mac OS 9～9.0.2 から 9.0.4 以降へのアップデータは、アップル社のホームページからダウンロードできます。

http://www.apple.co.jp

正しく接続されていますか？

- ビデオカメラに AC アダプターが接続され、電源が入っていることを確認してください。
- USB ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
- 電源付きの USB ハブを使うか、パソコン本体の USB 端子に接続してください。

- ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されている間は、絶対に USB ケーブルを取りはずさないでください。

- USB ハブを経由してパソコンに接続すると、ハブとパソコンの相性によってはパソコンの動作が不安定になることがあります。ハブを使用しないでパソコン本体の USB 端子に接続してください。
- USB ケーブルの延長ケーブルは使用しないでください。
- 新たに購入したメモリーカード（付属のメモリーカードを除く）をご使用になる場合は、あらかじめビデオカメラでメモリーカードを初期化してください。パソコンでファイルをコピーできないことがあります。

メモリーカードの中を見る

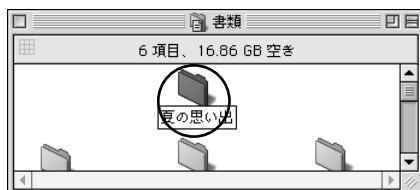
※フォルダは、ビデオカメラが必要とするまで作成されません。

ご注意

- メモリーカードにビデオカメラで使えないファイルを保存したり、メモリーカードからファイルやフォルダを削除すると、ビデオカメラの動作に支障がでることがあります。ファイルを削除するときは、パソコンではなく、ビデオカメラで操作してください。

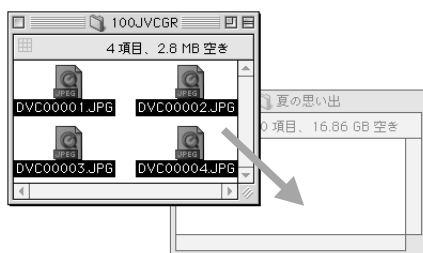
画像をパソコンにコピーする

メモリーカードに記録された静止画ファイル（拡張子 JPG）を、パソコンにコピーできます。

1 **新しいフォルダをハードディスクの中に作成し、フォルダ名を付けてダブルクリックする**

2 **デスクトップのメモリーカードのアイコンをダブルクリックする**

メモリーカードの中のフォルダが表示されます。（☞ 前ページ）

3 **「DCIM」フォルダの中からコピーするファイル（拡張子 JPG）を選ぶ**

4 **手順 1 で作成したフォルダに、ファイルをドラッグ＆ドロップする**

ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示され、メモリーカードからパソコンにファイルがコピーされます

● 「ファイルアクセス中」と表示されている間は、絶対に USB ケーブルを取りはずさないでください。

ビデオカメラを取りはずす

メモリーカードを交換するときやパソコンの電源を切るときは、USB ケーブルを取りはずしてビデオカメラの電源を切ってください。

1 デスクトップのメモリーカードのアイコンを「ゴミ箱」に捨てる

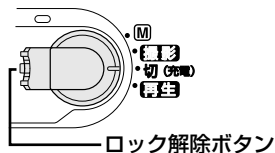
2 メッセージが表示されたときは、「OK」をクリックする

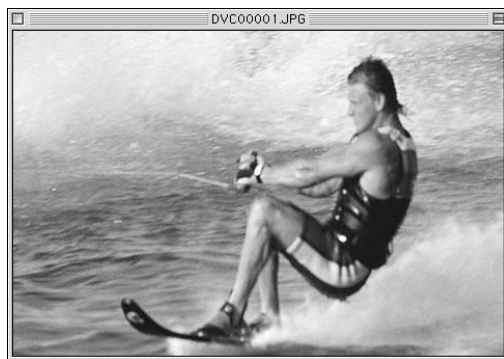
3 ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されていないことを確認する

- 「ファイルアクセス中」と表示されているときは、消えるまでしばらくお待ちください。

4 USB ケーブルを取りはずす

5 ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「切」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が切れます。

画像をパソコンで扱う

JPEG 形式のファイルを扱えるソフトウェアをご利用ください。静止画ファイル（拡張子 JPG）をダブルクリックするか、ソフトウェアのアイコンにドラッグ＆ドロップすると静止画を表示できます。

フォト・ナビゲーターを使う(Windows®)

フォト・ナビゲーターを使って静止画を保管・鑑賞・加工する方法を説明します。
メールで静止画ファイルを送ったり、アルバムをWebページとして保存することができます。
Windows®をお使いの場合にお読みください。

動作環境（お使いになれるパソコン）

次の条件を満たすパソコンは、USB ケーブルでビデオカメラと接続し、付属のフォト・ナビゲーターに静止画を読み込むことができます。

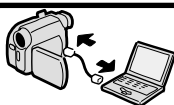
OS	：	Windows® 98 プリインストール版 Windows® 98 Second Edition プリインストール版（以下、98SE） Windows® Millennium Edition プリインストール版（以下、Me） Windows® 2000 Professional プリインストール版（以下、2000） Windows® XP Home Edition プリインストール版（以下、XP） Windows® XP Professional プリインストール版（以下、XP）
CPU	：	Intel® MMX® Pentium® 200MHz 以上
RAM	：	64MB 以上
ハードディスク	：	インストールに約 10MB 以上必要。500MB 以上の空き容量を推奨。
端子	：	標準装備の USB 端子
ディスプレイ	：	800 × 600 ドット以上 16bit color が再生可能なこと
その他	：	Internet Explorer 5.5 以降

- パソコンの環境によっては、正常に動作しないことがあります。

フォト・ナビゲーターを使うまでの流れ

ソフトウェアをインストールする (☞ P.38)

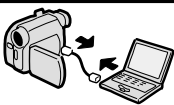
付属の **CD-ROM** からドライバとフォト・ナビゲーターをインストールします。

- USB マスストレージクラスドライバ(Windows® 98/98SE のみ)
- フォト・ナビゲーター

ビデオカメラを接続する (☞ P.17)

USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続します。

- USB マスストレージクラスドライバをインストールする前に接続すると、異なるドライバがインストールされることがあります。(☞ P.102)

画像をパソコンにコピーする (☞ P.21)

ビデオカメラのメモリーカードから、静止画ファイルをパソコンにコピーします。

ビデオカメラを取りはずす (☞ P.22)

ビデオカメラをパソコンから取りはずし、電源を切ります。

フォト・ナビゲーターを使う (☞ P.45)

アルバムに写真を貼るように静止画を読み込むことができます。また、メールに添付して送ることができます。

ソフトウェアをインストールする

USB マスストレージクラスドライバのインストール

ビデオカメラのメモリーカードがパソコンで読み書きできるようになります。

Windows® Me/2000/XP の場合

ドライバのインストールは必要ありません。USB ケーブルで接続するだけでビデオカメラのメモリーカードをパソコンで読み書きできます。
「フォト・ナビゲーターのインストール」（☞P.41）へ進んでください。

Windows® 98/98SE の場合

USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続する前に、USB マスストレージクラスドライバを次の手順でインストールしてください。

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

しばらくすると「重要なお知らせ」が表示されます。

- 「重要なお知らせ」が表示されないときは、「マイコンピュータ」をダブルクリックして CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

2 内容を確認し、「次へ」をクリックする

「セットアップ」が表示されます。

必ず、お読みください。

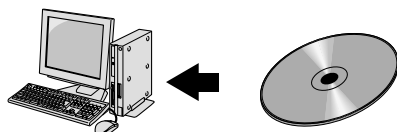
3 「USB マスストレージクラスドライバ」の隣の「インストール」をクリックする

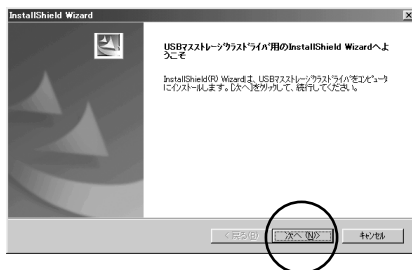
インストール先を指定する画面が表示されます。

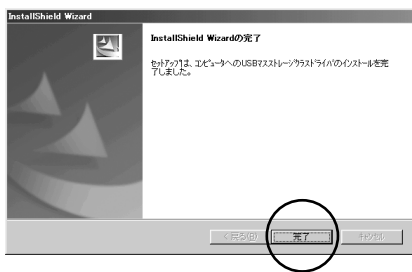
ソフトウェアの説明が表示されます。

4 「完了」をクリックする

しばらくすると「InstallShield Wizard」が表示されます。

次へ続く

5 「次へ」をクリックする

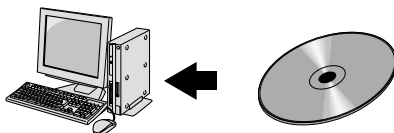
しばらくすると「InstallShield Wizardの完了」が表示されます。

6 「完了」をクリックする

インストールが完了し、「セットアップ」に戻ります。

※続いて次ページの「フォト・ナビゲーターのインストール」へ進んでください。

フォト・ナビゲーターのインストール

静止画を読み込んでアルバムを作れるようになります。

Windows® Me/2000/XP の場合

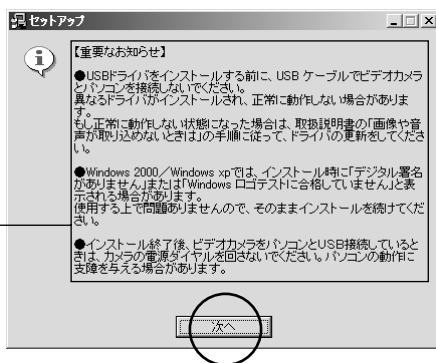
1 **付属の CD-ROM をパソコンにセットする**

しばらくすると「重要なお知らせ」が表示されます。

- 「重要なお知らせ」が表示されないときは、「マイコンピュータ」をダブルクリックして CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

（Windows® XP では、「スタート」メニューの「マイコンピュータ」をクリックし、CD-ROM アイコンをダブルクリックします）

次へ続く

2 内容を確認し、「次へ」をクリックする

- 画面はOSによって異なります。

「セットアップ」が表示されます。

※以後、次の「Windows® 98/98SEの場合」と同じ手順で操作します。

Windows® 98/98SE の場合

1 「フォト・ナビゲーター1.0」の隣の「インストール」をクリックする

しばらくすると「使用許諾契約」が表示されます。

ソフトウェアの説明が表示されます。

2 内容を確認し、「はい」をクリックする

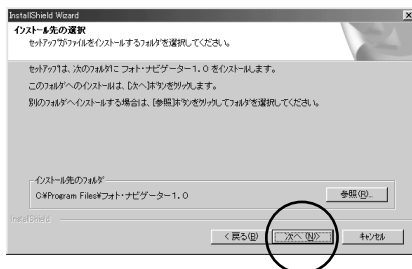
「インストール先の選択」が表示されます。

InstallShield Wizard
使用許諾契約
次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。
契約の残りの部分を読むには、[Page Down]キーを押してください。
ソフトウェア使用許諾契約書
日本ビクター株式会社(以下「弊社」といいます)は、お客様に、「フォト・ナビゲーター」(以下「本ソフト」といいます)を使用する権利を下記の条件で許諾します。
1. 著作権
本ソフトおよび本ソフトとともにお客様に提供されるマニュアルおよび取扱説明書等の関連資料(以下「関連資料」といいます)に関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。
前述の製品使用許諾契約のすべての条項に同意しますか? [いいえ]ボタンを選択すると、セットアップを中止します。フォト・ナビゲーター1.0 をインストールするには、この契約に同意する必要があります。
InstallShield
< 戻る(B) はい(Y) いいえ(N)

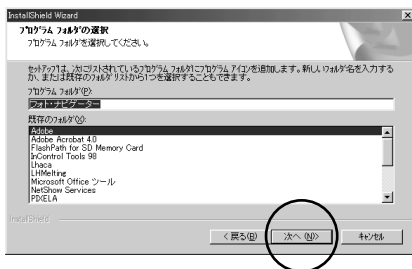
必ず、お読みください。

3 「次へ」をクリックする

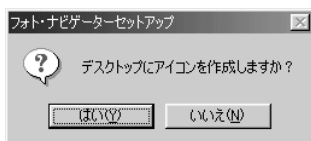
「プログラムフォルダの選択」が表示されます。

次へ続く

ソフトウェアをインストールする

4 「次へ」をクリックする

しばらくすると「デスクトップにアイコンを作成しますか？」と表示されます。

5 どちらかのボタンをクリックする

インストールが完了し、「セットアップ」に戻ります。

「はい」をクリックしたときは、デスクトップにフォト・ナビゲーターのアイコンが作られます。

6 「終了」をクリックする

「セットアップ」が閉じます。

- 画面は OS によって異なります。

※インストールは完了しました。パソコンから CD-ROM を取り出してください。

フォト・ナビゲーターの使いかた

主な機能

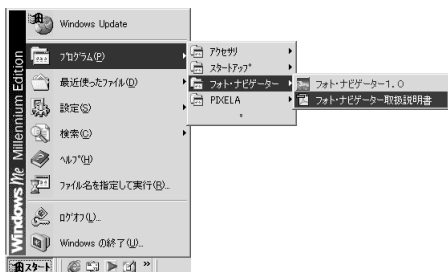
フォト・ナビゲーターを使うと、ビデオカメラで撮影した静止画をさまざまな方法で、友人や家族に送ることができます。詳しくは、オンラインマニュアルの「フォト・ナビゲーター取扱説明書」をご覧ください。

■静止画ファイルを読み込んでアルバムを作る
■メールに静止画ファイルを添付する
■アルバムの内容をWebページとして保存する
■静止画をつなげて動画（スライドショーやアニメーション）を作る
■ファイルサイズを指定して、アルバムから静止画を取り出す
（フォト・ナビゲーターでは印刷できません。印刷するときはアルバムから取り出してください）

オンラインマニュアルの読みかた

オンラインマニュアルは、スタートメニューから選択して表示できます。なお、オンラインマニュアルを読むには、Adobe社のAcrobat Reader 3.0以降が必要です。

1 **「スタート」をクリックし、「プログラム」–「フォト・ナビゲーター」の順にポイントし、「フォト・ナビゲーター取扱説明書」をクリックする**

Acrobat Readerが立ち上がり、「フォト・ナビゲーター取扱説明書」が表示されます。

● Acrobat Readerは、付属のCD-ROMからインストールできます。

ImageMixer を使う (Windows® & Macintosh)

ImageMixer は、静止画の取り込みとアルバム作成のほか、色や明るさの調整、USB ケーブルや DV ケーブルを使ったビデオ映像の取り込みなど、さまざまな機能を持つソフトウェアです。
Windows®または Macintosh をお使いの場合にお読みください。

動作環境（お使いになれるパソコン）

ImageMixerは、次の条件を満たすパソコンで使うことができます。

Windows®の場合

OS	：Windows® 98 プリインストール版 （USBケーブルおよびDVケーブルを使ってビデオ映像を取り込むことはできません） Windows® 98 Second Edition プリインストール版（以下、98SE） （DVケーブルを使ってビデオ映像を取り込むことはできません） Windows® Millennium Edition プリインストール版（以下、Me） Windows® 2000 Professional プリインストール版（以下、2000） Windows® XP Home Edition プリインストール版（以下、XP） Windows® XP Professional プリインストール版（以下、XP）
CPU	：Intel® Pentium Ⅲ® 500MHz以上 （快適に使用する場合は800MHz以上を推奨）
RAM	：64MB以上
ハードディスク	：インストールに約300MB以上必要。1GB以上の空き容量を推奨。
端子	：USB端子またはIEEE1394(I-LINK)端子が標準装備のこと
ディスプレイ	：800×600ドット以上 16bit colorが再生可能なこと
その他	：Internet Explorer 5.5以降、DirectX 8.0a以降

Macintoshの場合

一部の機種では機能の一部が正常に動作しないことがあります。

ハードウェア	：USB端子を標準装備するiMac, iBook, eMac, PowerMac G4, PowerBook G3, PowerBook G4
OS	：Mac OS 9.0.4～9.2.2 （Mac OS XとMac OS XのClassicには対応していません）
CPU	：PowerPC G3/400MHz以上 PowerPC G4/400MHz以上
RAM	：128MB以上
ハードディスク	：インストールに約150MB以上必要。1GB以上の空き容量を推奨。
ディスプレイ	：800×600ドット以上、約32,000色が再生可能なこと
その他	：QuickTime 4以降

- Video CDの作成には、パソコン用のCD-Rドライブが必要です。
Windows®の場合は、さらにWinCDR7.0（Aplix社）に対応しているドライブが必要です。Macintoshの場合は、さらにロキシオ社のToastが必要です。
- パソコンの環境によっては、正常に動作しないことがあります。

ImageMixer を使う前にお読みください

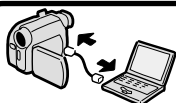
準備と操作の流れ

ビデオカメラからビデオ映像を取り込むとき

ソフトウェアをインストールする (☞ P.53)

付属の **CD-ROM** からドライバと **ImageMixer** をインストールします。

- USB マスストレージクラスドライバ(Windows® 98/98SE のみ)
- USB ビデオストリーミングドライバ、ImageMixer、DirectX

※ Macintosh では、ImageMixer と USB ビデオストリーミングドライバをインストールします。(☞ P.52)

ビデオカメラを接続する (☞ P.68, 72)

USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続します。

- 接続の方法は、リアルタイム取り込みとテープからの取り込みとで異なります。
- USB マスストレージクラスドライバと USB ビデオストリーミングドライバをインストールする前に接続すると、異なるドライバがインストールされることがあります。(☞ P.102)

ImageMixer でビデオ映像を取り込む (☞ P.70, 74)

ビデオカメラからリアルタイムでビデオ映像を取り込んだり、ビデオカメラのテープからパソコンにビデオ映像をコピーすることができます。
取り込んだビデオ映像は、ImageMixer で編集して Video CD に書き込むことができます。

メモリーカードからファイルを読み込むとき

1 前ページの「ImageMixer などをインストールする」と同じ操作を行う

2 メモリーカードに入っている静止画ファイルをパソコンに読み込む

- Windows® の場合　：第 1 章をお読みください（☞ P.11）
- Macintosh の場合　：第 2 章をお読みください（☞ P.27）

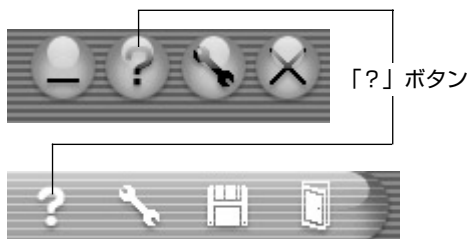
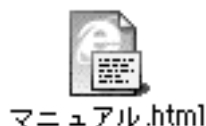
3 ImageMixer に静止画ファイルを読み込む

- ImageMixer のオンラインヘルプをご覧ください。（☞ 次のページ）

重要：フォト・ナビゲーターとの相違点

フォト・ナビゲーターと異なり、ImageMixer では画像ファイルの所在とサムネール画像だけをアルバムに登録します。ImageMixer で画像を加工すると元のファイルが加工され、削除すると元のファイルが削除されます。またファイルを移動すると、ImageMixer はファイルの所在を見失います。ファイルの取り扱いに注意してください。

もっと詳しく知るには

本書では、ImageMixerの概要を紹介します。各機能の使い方についてはオンラインヘルプをご覧ください。
Windows®をお使いの場合は、ImageMixer画面の右上にある「？」ボタンをクリックします。Macintoshをお使いの場合は、「ImageMixer」フォルダの「マニュアル.html」ファイルをダブルクリックします。Webブラウザが立ち上がり、オンラインヘルプが表示されます。

■ **Macintosh**

お問い合わせ先

ImageMixerのご使用方法、ご質問、ご相談につきましては、下記のユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

株式会社　ピクセラ　ユーザーサポートセンター

住所　〒590-0985　大阪府堺市戎島町4-45-1 ポルタスセンタービル
Phone　072-224-0181
受付時間　10:00～13:00、14:00～17:00（年末年始、祝祭日、所定定休日を除く）
Fax　072-224-7177
受付時間　24時間受付

メールでのサポートは行っておりません。ご質問や操作方法に関するお問い合わせは、ユーザーサポートセンターまでお電話かFAXにてご連絡ください。
ピクセラホームページ： http://www.imagemixer.com/

ソフトウェアをインストールする (Macintosh)

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

2 CD-ROM の中の「ImageMixer」フォルダをダブルクリックする

3 「ImageMixer with VCD インストール」アイコンをダブルクリックし、画面の指示にしたがって操作する

4 再起動を求めるメッセージが表示されたときは、「再起動」をクリックする

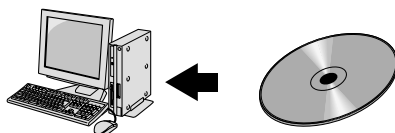
パソコンが再起動します。

5 インストールが終了したら、CD-ROM を取り出す

- パソコンの環境によっては、正常に動作しないことがあります。

ソフトウェアをインストールする (Windows®)

CD-ROM をセットする

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

しばらくすると「重要なお知らせ」が表示されます。

- 「重要なお知らせ」が表示されないときは、「マイコンピュータ」をダブルクリックして CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

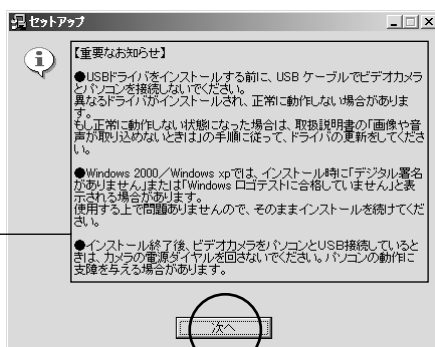
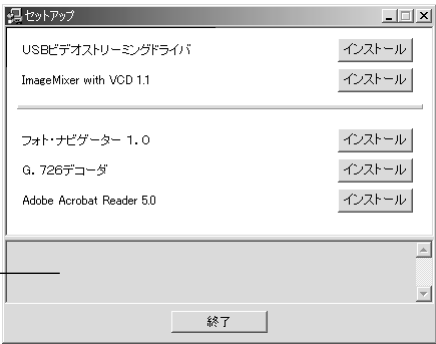
（Windows® XP では、「スタート」メニューの「マイコンピュータ」をクリックし、CD-ROM アイコンをダブルクリックします）

2 内容を確認し、「次へ」をクリックする

- 画面は OS によって異なります。

「セットアップ」が表示されます。

必ず、お読みください。

次へ続く

ソフトウェアをインストールする (Windows®)

USB マスストレージクラスドライバのインストール

ビデオカメラのメモリーカードがパソコンで読み書きできるようになります。

Windows® Me/2000/XP の場合

ドライバのインストールは必要ありません。USB ケーブルで接続するだけでビデオカメラのメモリーカードをパソコンで読み書きできます。
「USB ビデオストリーミングドライバのインストール」(☞P.57)へ進んでください。

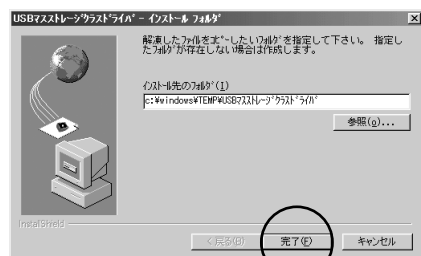
Windows® 98/98SE の場合

USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続する前に、USB マスストレージクラスドライバを次の手順でインストールしてください。

1 「USB マスストレージクラスドライバ」の隣の「インストール」をクリックする

インストール先を指定する画面が表示されます。

ソフトウェアの説明が表示されます。

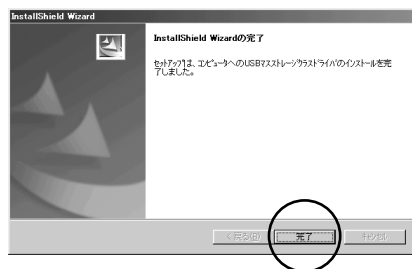
2 「完了」をクリックする

しばらくすると「InstallShield Wizard」が表示されます。

次へ続く

3 「次へ」をクリックする

しばらくすると「InstallShield Wizard の完了」が表示されます。

4 「完了」をクリックする

インストールが完了し、「セットアップ」に戻ります。

※Windows® 98SE の場合は、続いて次の「USB ビデオストリーミングドライバ」へ進んでください。

※ Windows® 98 の場合は、「DirectX のインストール」(☞P.61)へ進んでください。

USB ビデオストリーミングドライバのインストール

ビデオカメラからビデオ映像を直接取り込むことができるようになります。

Windows® 98 の場合

USB ビデオストリーミングドライバはインストールしません。「DirectX のインストール」（☞ P.61）へ進んでください。

Windows® 98SE/Me/2000 の場合

1 **「USB ビデオストリーミングドライバ」の隣の「インストール」をクリックする**

- 画面は OS によって異なります。（☞ P.54）

インストール先を指定する画面が表示されます。

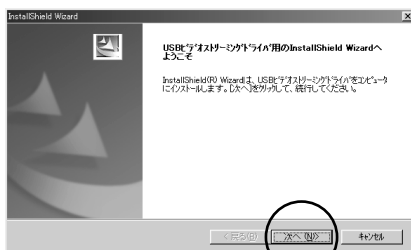
2 **「完了」をクリックする**

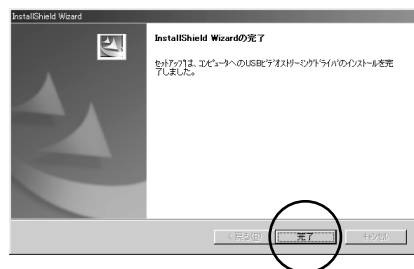
しばらくすると「InstallShield Wizard」が表示されます。

次へ続く

3 「次へ」をクリックする

- Windows® 2000で「デジタル署名がありません」と表示される場合があります。使用する上で問題ありませんので、そのままインストールを続けてください。

しばらくすると「InstallShield Wizardの完了」が表示されます。

4 「完了」をクリックする

インストールが完了し、「セットアップ」に戻ります。

※続いて「DirectXのインストール」(☞P.61）へ進んでください。

Windows® XP の場合

ビデオカメラを接続すると、４種類のドライバが連続してインストールされます。

ご注意
- 操作中に表示される「Windows ロゴテストに合格していません」という警告画面では、必ず「続行」をクリックしてください。「インストールの停止」を選択すると、正しくインストールできません。

1 USB ケーブルで、ビデオカメラとパソコンを接続する（☞P.68）

しばらくすると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

2 「一覧または特定の場所からインストールする」をクリックし、「次へ」をクリックする

ドライバの検索画面が表示されます。

お使いのビデオカメラの機種名が表示されます。

3 次の 3 箇所を順にクリックする

- 「次の場所で最適のドライバを検索する」
- 「次の場所を含める」
- 「参照」

「フォルダの参照」が表示されます。

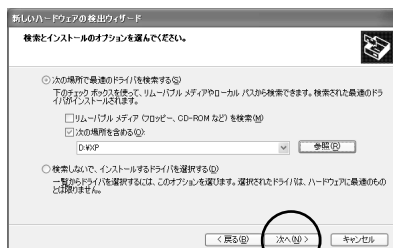
4 CD-ROM ドライブと「XP」フォルダをダブルクリックし、「OK」をクリックする

ドライバの検索画面に戻ります。

次へ続く

5 「次へ」をクリックする

- 画面は、CD-ROM ドライブのドライブ名が(D:)の場合のものです。

警告画面が表示されます。

6 「続行」をクリックする

しばらくすると「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されます。

7 「完了」をクリックする

再び「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

8 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されなくなるまで、手順２～７を繰り返す

- 手順２～７を４回繰り返すと、USB ビデオストリーミングドライバのインストールが完了します。

ご注意

- 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されるまで、数秒～数十秒の時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。

※続いて次の「DirectX のインストール」へ進んでください。

DirectXのインストール

ImageMixerの動作に必要なソフトウェアです。

1 「ImageMixer with VCD 1.1」の隣の「インストール」をクリックする

- 画面はOSによって異なります。
  （☞ P.54）

「ImageMixer」が表示されます。

ソフトウェアの説明が表示されます。

2 Menu欄の「DirectX」をクリックする

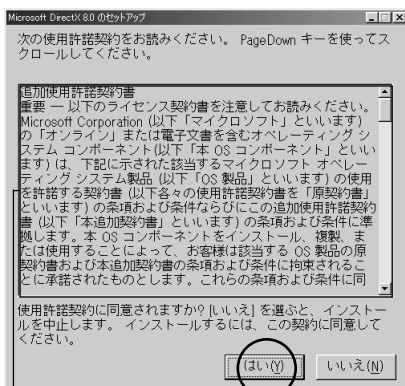
使用許諾契約の画面が表示されます。

ソフトウェアの説明が表示されます。

3 内容を確認し、「はい」をクリックする

「DirectX(R)セットアップ」が表示されます。

- より新しいバージョンのDirectXがあると表示されたときは、インストールを中止します。次の手順4で「閉じる」をクリックし、「ImageMixerのインストール」へ進んでください。

必ず、お読みください。

次へ続く

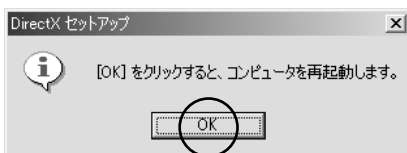
4 「インストール」をクリックする

- 「DirectX の再インストール」と表示されることもあります。

しばらくすると、再起動を求めるメッセージまたはセットアップの完了メッセージが表示されます。

5 「OK」をクリックする

インストールが完了し、パソコンが再起動します。

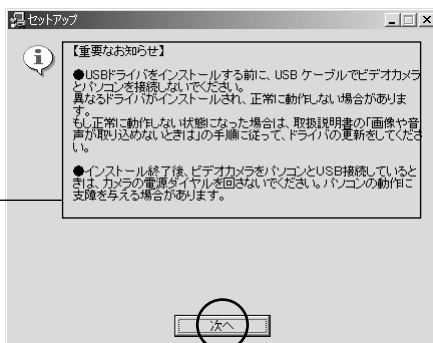
- 「DirectX のセットアップが完了しました。」と表示されているときは、パソコンは再起動しません。

※続いて次の「ImageMixer のインストール」へ進んでください。

ImageMixer のインストール

パソコンに読み込んだ静止画を加工したり、ビデオカメラから動画や静止画を取り込んで Video CD を作成できるようになります。

1 「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROM アイコンをダブルクリックする

- Windows® XP では、「スタート」メニューの「マイコンピュータ」をクリックし、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

しばらくすると「重要なお知らせ」が表示されます。

2 内容を確認し、「次へ」をクリックする

- 画面は OS によって異なります。

「セットアップ」が表示されます。

必ず、お読みください。

3 「ImageMixer with VCD 1.1」の隣の「インストール」をクリックする

- 画面は OS によって異なります。
（☞ P.54）

「ImageMixer」が表示されます。

ソフトウェアの説明が表示されます。

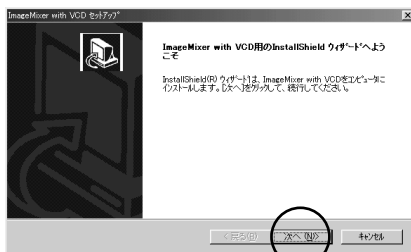
4 Menu 欄の「ImageMixer」をクリックする

「ImageMixer with VCD セットアップ」が表示されます。

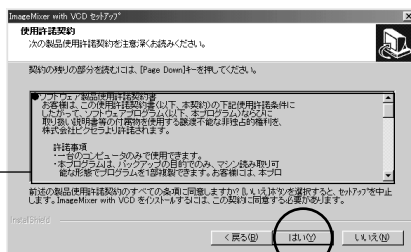
ソフトウェアの説明が表示されます。

次へ続く

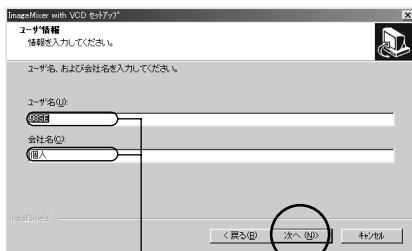
5 「次へ」をクリックする

「使用許諾契約」が表示されます。

6 内容を確認し、「はい」をクリックする

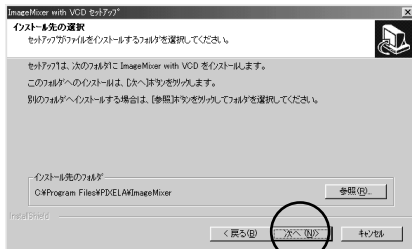
「ユーザ情報」が表示されます。

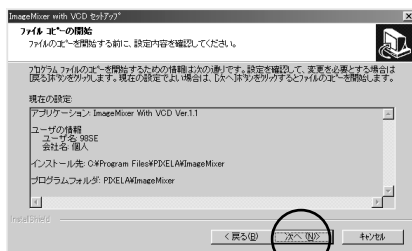
必ず、お読みください。

7 ユーザ名と会社名を入力し、「次へ」をクリックする

「インストール先の選択」が表示されます。

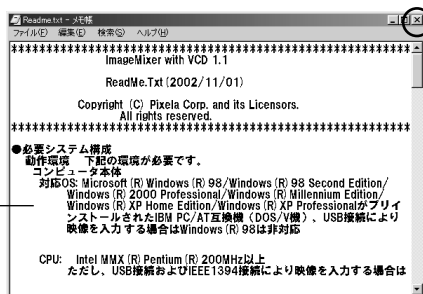
- ユーザ名と会社名を入力しないと「次へ」をクリックできません。個人ユーザの場合も、会社名に何らかの文字を入力してください。

必ず入力します。

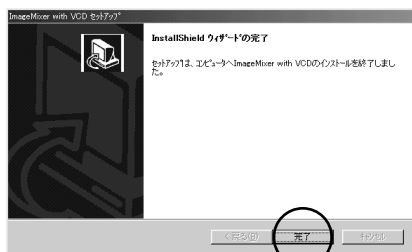
8 「次へ」をクリックする

「ファイルコピーの開始」が表示されます。

9 「次へ」をクリックする

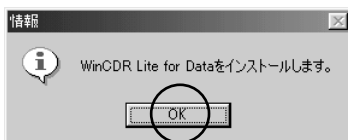
しばらくすると「Readme.txt」が表示されます。

10 内容を確認し、ウィンドウ右上の「×」をクリックする

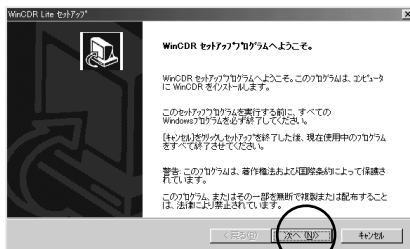
ウィンドウが閉じ、「InstallShield ウィザードの完了」が表示されます。

必ず、お読みください。

11 「完了」をクリックする

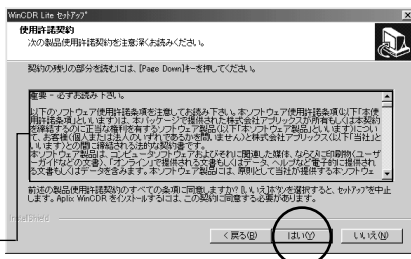
「WinCDR Lite for Data をインストールします。」と表示されます。

12 「OK」をクリックする

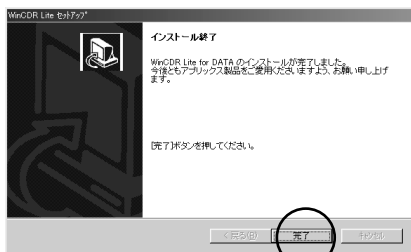
「WinCDR Lite セットアップ」が表示されます。

次へ続く

13 「次へ」をクリックする

「使用許諾契約」が表示されます。

14 内容を確認し、「はい」をクリックする

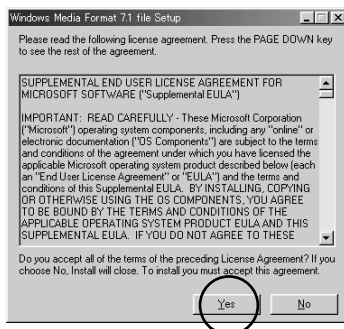
しばらくすると、「インストール終了」が表示されます。

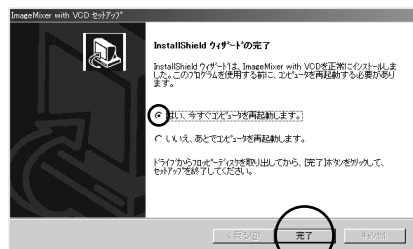
必ず、お読みください。

15 「完了」をクリックする

「情報」が表示されます。

16 「OK」をクリックする

「Windows Media Format 7.1 file Setup」が表示されます。

17 「Yes」をクリックする

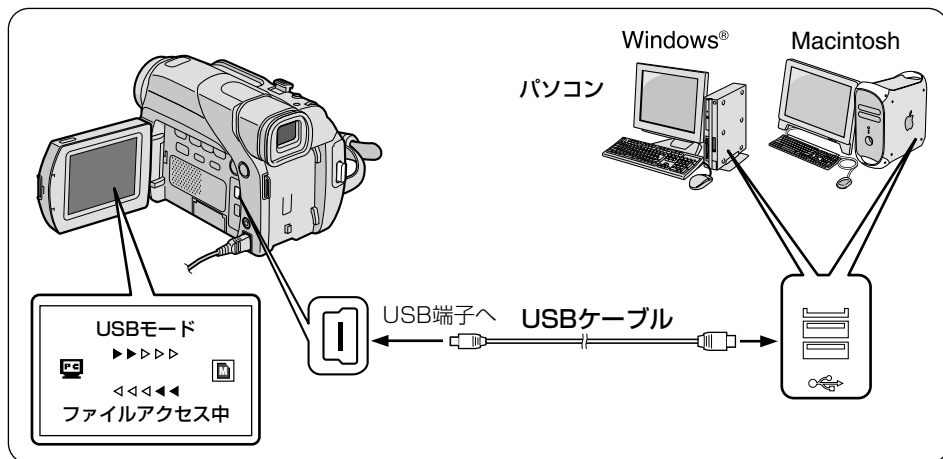
「InstallShield ウィザードの完了」が表示されます。

18 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」をクリックし、「完了」をクリックする

インストールが完了し、パソコンが再起動します。

※インストールはすべて完了しました。パソコンからCD-ROMを取り出してください。

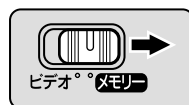
ImageMixerを使う

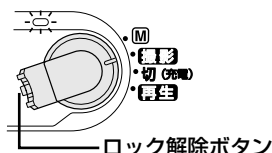
ビデオ映像を取り込む

リアルタイムで取り込む

ビデオカメラをパソコンに接続し、ビデオカメラのテープやメモリーカードの代わりにパソコンに録画できます（リアルタイム取り込み）。
なお、Windows® 98 では、ビデオ映像を取り込むことはできません。

ビデオカメラを接続する

1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

2 ビデオカメラのモード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

3 ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「撮影」または「Ⓜ」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が入ります。

4 パソコンのスピーカーボリュームを最小にする

5 USBケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する

6 「スタート」をクリックし、「プログラム」－「PIXELA」－「ImageMixer」の順にポイントし、「ImageMixer With VCD」をクリックする

- デスクトップの「ImageMixer with VCD Ver.1.1」アイコンをダブルクリックすることもできます。
- Macintoshをお使いの場合は、「ImageMixer」アイコンをダブルクリックします。

ImageMixerが立ち上がります。

7 左端のボタンをクリックする

入力モードの画面が表示されます。

このボタン

8 USB映像入力ボタンをクリックする

USB映像入力モードの画面が表示されます。

ビデオ映像を取り込む

ビデオカメラからリアルタイムで取り込む

動画の取り込み

1 動画ボタンをクリックする

保存先の空き容量が、情報表示パネルに表示されます。

2 キャプチャボタンをクリックする

取り込みが開始され、「動画取り込み中」と表示されます。

3 再びキャプチャボタンをクリックする

取り込みと変換が終了すると、動画ファイル（MPEG1 形式）がアルバムに登録されます。

静止画の取り込み

1 静止画ボタンをクリックする

「静止画取り込み可能です」と情報表示パネルに表示されます。

2 キャプチャボタンをクリックする

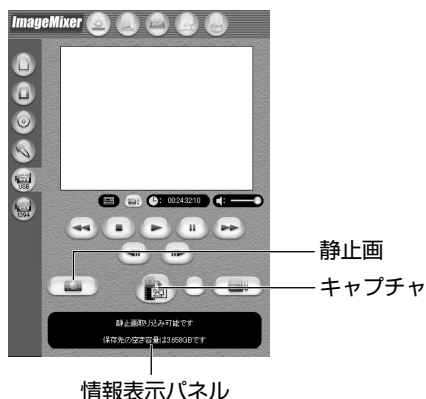
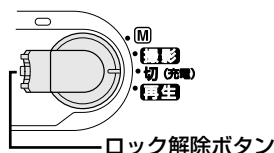
クリックした瞬間の映像が取り込まれ、静止画ファイルがアルバムに登録されます。

ビデオカメラを取りはずす

1 **USB ケーブルを取りはずす**

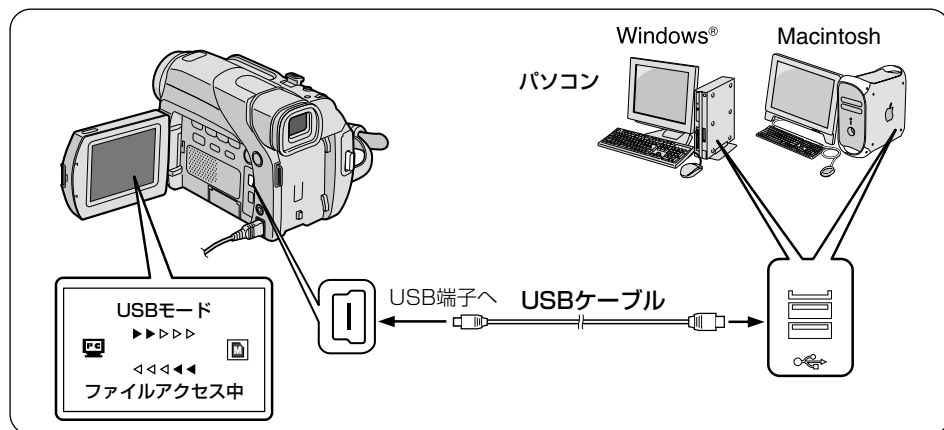
2 **ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「切」の位置に合わせる**

ビデオカメラの電源が切れます。

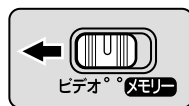
ご注意

- ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されている間は、絶対にUSB ケーブルを取りはずさないでください。
- ビデオカメラとパソコンを接続している間は、ビデオカメラのモード選択スイッチを動かさないでください。ImageMixer が動作しなくなります。ImageMixer が動作しなくなったときは、USB ケーブルを取りはずし、再び USB ケーブルを接続しなおします。
- ビデオカメラとパソコンを接続している間は、電源ダイヤルを回さないでください。

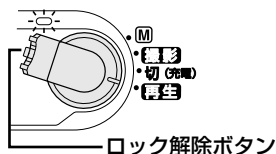
- MPEG1 で動画を取り込めるが、MPEG4 に変換できない場合は、WindowsMedia™ Player（バージョン7以降）をインストールしてください。
WindowsMedia™ Player はマイクロソフト社のホームページからダウンロードできます。
http://www.microsoft.com/japan/

テープから取り込む

ビデオカメラをパソコンに接続し、ビデオカメラのテープからビデオ映像をパソコンにコピーできます。
なお、Windows® 98 では、ビデオ映像を取り込むことはできません。

ビデオカメラを接続する

1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

2 ビデオカメラのモード選択スイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

3 ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「再生」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が入ります。

4 USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する

5 「スタート」をクリックし、「プログラム」－「PIXELA」－「ImageMixer」の順にポイントし、「ImageMixer With VCD」をクリックする

- デスクトップの「ImageMixer with VCD Ver.1.1」アイコンをダブルクリックすることもできます。
- Macintoshをお使いの場合は、「ImageMixer」アイコンをダブルクリックします。

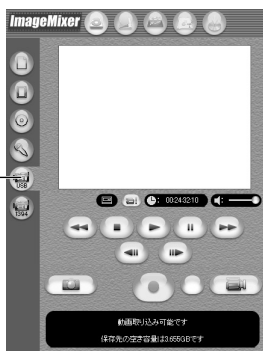
ImageMixerが立ち上がります。

6 左端のボタンをクリックする

入力モードの画面が表示されます。

このボタン

7 USB映像入力ボタンをクリックする

入力モードの画面が表示され、しばらくすると青い画面が表示されます。

USB映像入力

ビデオ映像を取り込む

ビデオカメラのテープから取り込む

ビデオのコピー

1 **動画ボタンをクリックする**

保存先の空き容量が、情報表示パネルに表示されます。

2 **再生ボタンをクリックする**

ビデオカメラでビデオが再生され、パソコンに同じ映像が表示されます。

3 **映像の表示が安定してから、キャプチャボタンをクリックする**

取り込みが開始され、「動画取り込み中」と表示されます。

4 **再びキャプチャボタンをクリックする**

取り込みと変換が終了すると、動画ファイル（MPEG1 形式）がアルバムに登録されます。

静止画の取り込み

1 **静止画ボタンをクリックする**

「静止画取り込み可能です」と情報表示パネルに表示されます。

2 **キャプチャボタンをクリックする**

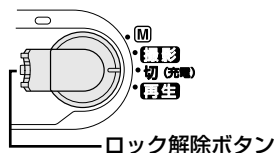
クリックした瞬間の映像が取り込まれ、静止画ファイルがアルバムに登録されます。

ビデオカメラを取りはずす

1 USB ケーブルを取りはずす

2 ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「切」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が切れます。

ご注意

- ビデオカメラの液晶画面に「ファイルアクセス中」と表示されている間は、絶対にUSB ケーブルを取りはずさないでください。
- ビデオカメラとパソコンを接続している間は、ビデオカメラのモード選択スイッチを動かさないでください。ImageMixer が動作しなくなります。ImageMixer が動作しなくなったときは、USB ケーブルを取りはずし、再び USB ケーブルを接続しなおします。
- ビデオカメラとパソコンを接続している間は、電源ダイヤルを回さないでください。

- Windows® をお使いの場合は、USB ケーブルの代わりに DV ケーブルを使って、動画を取り込むこともできます。操作方法については、オンラインヘルプをご覧ください。（☞P.51）
- 別売の DV ケーブルで接続してテープから動画を取り込む場合、お使いのパソコンのハードウェア構成と性能によっては、音声にノイズが入ることがあります。このような場合は、USB ケーブルを使用してください。

ファイルを管理する

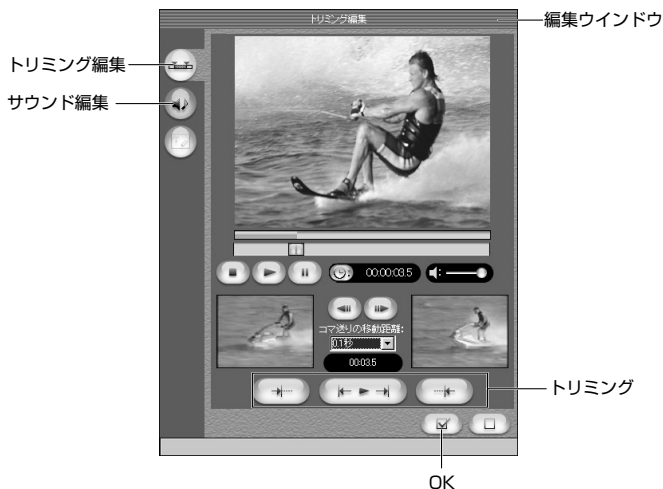
アルバムに登録したファイル（静止画、動画、音声）を目的に応じて分類・検索・変更できます。静止画のファイルサイズを変更することもできます。
ビデオカメラのメモリーカードからファイルをコピーする方法については、第１章（Windows®）または第２章（Macintosh）をご覧ください。

再生するにはサムネールをダブルクリックします。

動画を編集する

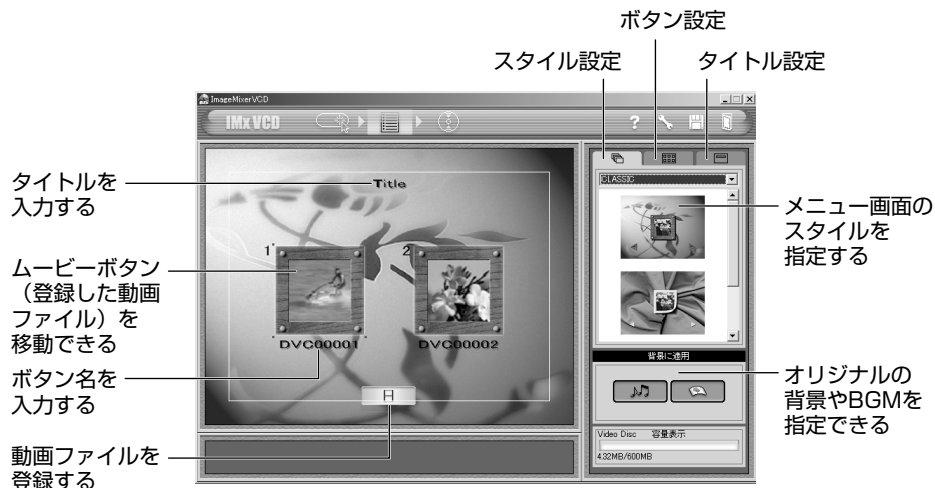
アルバムに登録した動画ファイルを編集できます。静止画を挿入したり、音声を加えることもできます。

画面下側に並べたサムネール（動画、静止画）をダブルクリックすると、編集ウインドウが表示されます。動画の前後を削除したり、音量を調節できます。静止画は表示時間を調節できます。

編集した結果を確認するにはプレビューボタンをクリックします。編集が終了したら、動画作成ボタンをクリックして保存します。

ImageMixer を使う

Video CD を作る

パソコンにCD-Rドライブが備わっている場合、ImageMixerでVideo CDを作成できます。

ImageMixerの最初の画面で右端のボタンをクリックし、「Video CD」をクリックしてください。次のメニュー/レイアウト画面が表示されます。

動画ファイルを登録し、タイトルとボタン名を設定したら、プレビュー/作成ボタンをクリックします。次のプレビュー/作成画面が表示されます。

未使用のCD-RディスクをCD-Rドライブにセットし、Video CDの作成ボタンをクリックします。Video CDが作成されます。

- Windows®の場合は、さらにWinCDR7.0（Aplix社）に対応しているドライブが必要です。
- Macintoshをお使いの場合は、Video CDの作成にロキシオ社のCDオーサリングソフトウェアToastと対応のCD-Rドライブが必要です。上記の方法で作成したVideo CDイメージファイルをToastで開くと、Video CDを作成できます。
- CD-Rドライブによっては、使用できない場合があります。詳しくは、IMxVCDのオンラインヘルプをご覧ください。（☞ P.51）
- Video CD 2.0規格に対応したプレーヤで再生してください。非対応のプレーヤでは再生できません。
- USBで動画取り込みしたものは、Video CDにすると画質が劣下します。

インターネットTV電話を楽しむ (Windows®)

Windows® NetMeeting®やWindows® Messengerを使って、ビデオカメラをインターネット経由のTV電話にすることができます。
Windows®をお使いの場合にお読みください。

動作環境（お使いになれるパソコン）

次の条件を満たすパソコンをお使いの場合、ビデオカメラを TV カメラとして、インターネット TV 電話を楽しむことができます。

OS	：	Windows® 98 プリインストール版
		Windows® 98 Second Edition プリインストール版（以下、98SE）
		Windows® Millennium Edition プリインストール版（以下、Me）
		Windows® 2000 Professional プリインストール版（以下、2000）
		Windows® XP Home Edition プリインストール版（以下、XP）
		Windows® XP Professional プリインストール版（以下、XP）
CPU	：	Intel® MMX® Pentium® 200MHz 以上
RAM	：	64MB 以上
端子	：	標準装備の USB 端子

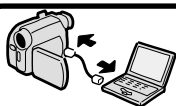
- パソコンの環境によっては、正常に動作しないことがあります。
- Windows® Messenger を使用するには、Windows® XP が必要です。

準備と操作の流れ

ドライバをインストールする (☞ P.84)

付属の **CD-ROM** からドライバをインストールします。
- USB ビデオストリーミングドライバ、DirectX

アプリケーションを確認する

パソコンに次のどちらかのアプリケーションがあることを確認します。
- Windows® NetMeeting® (☞P.91)
- Windows® Messenger（Windows® XP のみ） (☞ P.95)

TV カメラとして接続する (☞ P.92, 96)

USB ケーブルでビデオカメラとパソコンを接続します。
- 接続の方法は、メモリーカードから読み込むときと異なります。

アプリケーションを準備する (☞ P.93, 97)

アプリケーションを設定します。

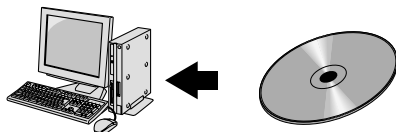
インターネットで通話する (☞ P.94, 98)

ビデオカメラとパソコンを使って TV 電話を行います。

ドライバをインストールする

DirectX のインストール

インターネット TV 電話の動作に必要なソフトウェアです。

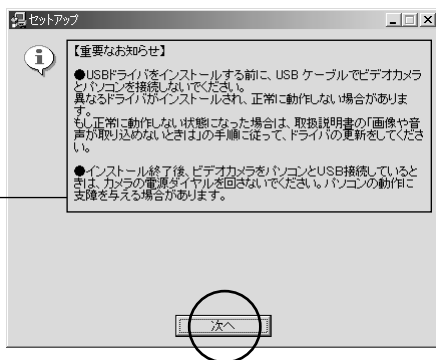
1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

しばらくすると「重要なお知らせ」が表示されます。

- 「重要なお知らせ」が表示されないときは、「マイコンピュータ」をダブルクリックして CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

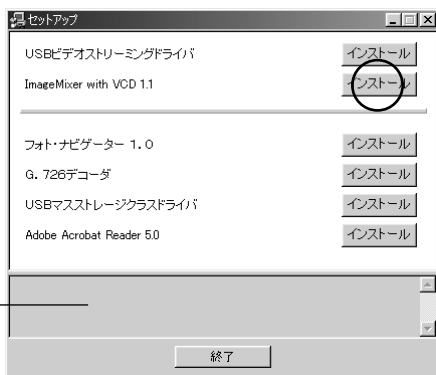
2 内容を確認し、「次へ」をクリックする

- 画面は OS によって異なります。

「セットアップ」が表示されます。

必ず、お読みください。

3 「ImageMixer with VCD 1.1」の隣の「インストール」をクリックする

- 画面はOSによって異なります。（☞ P.54）

「ImageMixer」が表示されます。

ソフトウェアの説明が表示されます。

4 Menu欄の「DirectX」をクリックする

使用許諾契約の画面が表示されます。

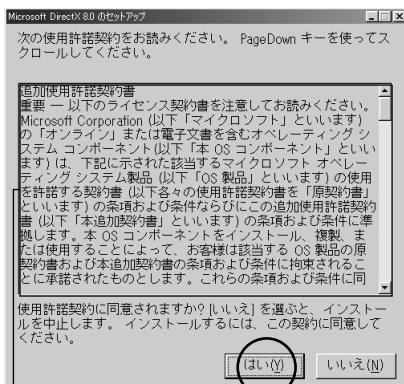
ソフトウェアの説明が表示されます。

5 内容を確認し、「はい」をクリックする

「DirectX(R)セットアップ」が表示されます。

- より新しいバージョンのDirectXがあると表示されたときは、インストールを中止します。次の手順6で「閉じる」をクリックし、「USBビデオストリーミングドライバのインストール」へ進んでください。

必ず、お読みください。

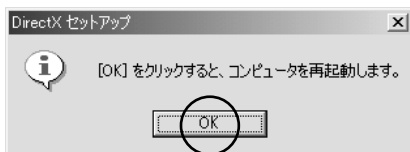
次へ続く

6 「インストール」をクリックする

- 「DirectX の再インストール」と表示されることもあります。

しばらくすると、再起動を求めるメッセージまたはセットアップの完了メッセージが表示されます。

7 「OK」をクリックする

インストールが完了し、パソコンが再起動します。

- 「DirectX のセットアップが完了しました。」と表示されているときは、パソコンは再起動しません。

※続いて次の「USB ビデオストリーミングドライバのインストール」へ進んでください。

USB ビデオストリーミングドライバのインストール

ビデオカメラを TV カメラとして使うことができるようになります。

Windows® 98/98SE/Me/2000 の場合

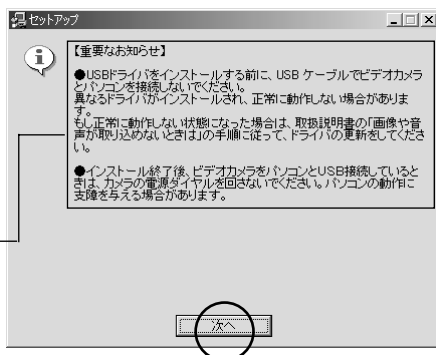
1 「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROM アイコンをダブルクリックする

しばらくすると「重要なお知らせ」が表示されます。

2 内容を確認し、「次へ」をクリックする

- 画面は OS によって異なります。

「セットアップ」が表示されます。

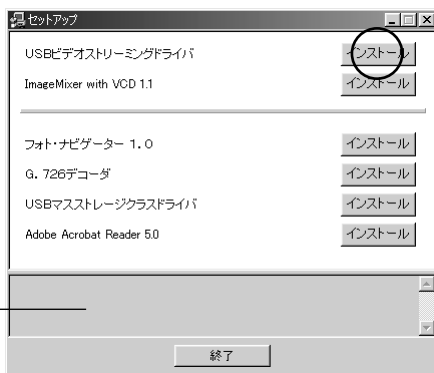
必ず、お読みください。

次へ続く

ドライバをインストールする

3 「USB ビデオストリーミングドライバ」の隣の「インストール」をクリックする

- 画面は OS によって異なります。（☞ P.54）

インストール先を指定する画面が表示されます。

ソフトウェアの説明が表示されます。

4 「完了」をクリックする

しばらくすると「InstallShield Wizard」が表示されます。

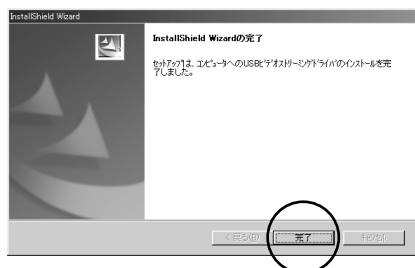
5 「次へ」をクリックする

- Windows® 2000 で「デジタル署名がありません」と表示される場合があります。使用する上で問題ありませんので、そのままインストールを続けてください。

しばらくすると「InstallShield Wizard の完了」が表示されます。

6 「完了」をクリックする

インストールが完了し、「セットアップ」に戻ります。

※インストールは完了しました。パソコンから CD-ROM を取り出してください。

Windows® XP の場合

ビデオカメラを接続すると、４種類のドライバが連続してインストールされます。

ご注意
- 操作中に表示される「Windows ロゴテストに合格していません」という警告画面では、必ず「続行」ボタンをクリックしてください。「インストールの停止」を選択すると、正しくインストールできません。

1 USB ケーブルで、ビデオカメラとパソコンを接続する（☞ P.96）

しばらくすると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

2 「一覧または特定の場所からインストールする」をクリックし、「次へ」をクリックする

ドライバの検索画面が表示されます。

お使いのビデオカメラの機種名が表示されます。

3 次の 3 箇所を順にクリックする

- 「次の場所で最適のドライバを検索する」
- 「次の場所を含める」
- 「参照」

「フォルダの参照」が表示されます。

4 CD-ROM ドライブと「XP」フォルダをダブルクリックし、「OK」をクリックする

ドライバの検索画面に戻ります。

次へ続く

5 「次へ」をクリックする

- 画面は、CD-ROM ドライブのドライブ名が(D:)の場合のものです。

警告画面が表示されます。

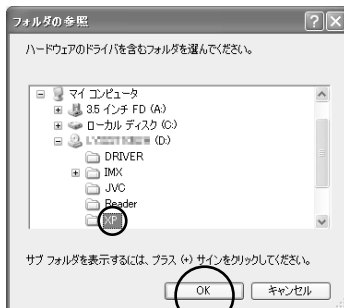
6 「続行」をクリックする

しばらくすると「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されます。

7 「完了」をクリックする

再び「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

8 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されなくなるまで、手順2～7を繰り返す

- 手順２～７を４回繰り返すと、USB ビデオストリーミングドライバのインストールが完了します。

- 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されるまで、数秒～数十秒の時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。

※インストールは完了しました。パソコンから CD-ROM を取り出してください。

Windows® NetMeeting® を使う

アプリケーションを確認する

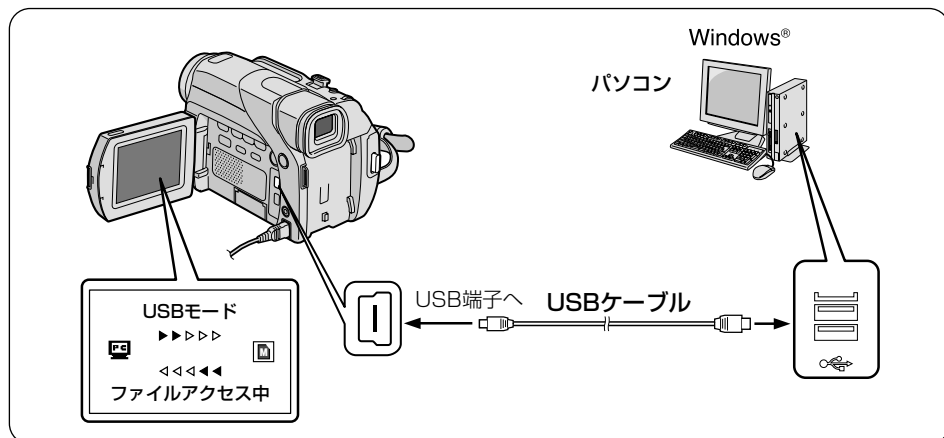
Windows® NetMeeting® 3.0 以降とMSN Messenger Service がインストールされていることを確認します。インストールされていない場合や、古いバージョンがインストールされている場合は、マイクロソフト社のホームページから最新版をダウンロードして、インストールします。

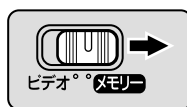
http://www.microsoft.com/japan/

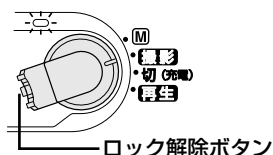
詳しくは、MSN Messenger Service とNetMeeting® のヘルプをご覧ください。また、ビクターホームページでも紹介する予定です。

http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/webcamera/faq.html

※インターネットTV 電話には、インターネットへ接続できる回線と、メールアドレスが必要です。あらかじめご用意ください。

TV カメラとして接続する

1 ビデオカメラの電源を切り、AC アダプターを接続する

2 ビデオカメラのモード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

3 ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「撮影」または「Ⓜ」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が入ります。

4 USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する

ビデオカメラの液晶画面の右上に PC アイコンが表示されます。

アプリケーションを準備する

はじめて通話するときに必要な操作です。

1 インターネットに接続する

2 USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する（☞P.92）

3 「コントロールパネル」の「マルチメディア」を開き、「オーディオ」タブの録音の「優先するデバイス」に「Victor PIX-MCV Audio Capture」を選ぶ

4 NetMeeting®を立ち上げ、画面の指示にしたがってセットアップする

- オーディオの調整ウィザードでは、録音デバイスとして「Victor PIX-MCV Audio Capture」を選びます。

5 通話メニューの「ディレクトリ」をクリックする

「通話先の検索」が表示されます。

6 画面の指示にしたがい、MSN Messenger Service をセットアップする

- すでにセットアップが済んでいる場合は、MSN Messenger Service へのログオン画面が表示されます。

7 NetMeeting®と MSN Messenger Service を終了する

インターネットで通話する

1 インターネットに接続する

2 USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する（☞P.92）

3 NetMeeting®を立ち上げ、通話メニューの「ディレクトリ」をクリックする

MSN Messenger Service へのログオン画面が表示されます。

4 画面の指示にしたがい、MSN Messenger Service へサインインする

5 「現在オンライン中の友達」のなかから、通信先を指定し、相手を呼び出す

- 相手が応答すれば、TV 電話を開始できます。通話先にも同等の環境が必要です。

ご注意

- 通話中はビデオカメラの電源ダイヤルを回さないでください。

- Windows® 98 をお使いの場合、ビデオカメラのマイクは利用できません。市販のマイクをパソコンに取り付けるか、パソコンの内蔵マイクを使用してください。
- ダイアルアップルータやブロードバンドルータをご利用の場合は、ルータの取扱説明書をご覧ください。
- インターネットにダイアルアップ接続する場合でも、ファイアウォールやルータを介して接続すると正しくアクセスできません。
- NetMeeting®が使用できるかどうかは、加入されているプロバイダにご確認ください。
- 通話中の画像や音声の品質は、通信回線の状態に依存します。

- ビデオカメラで再生している映像を、NetMeeting®で送信することもできます。このときは、USB ケーブルをテープから取り込むときの方法で接続します（☞ P.72）。

Windows® Messenger を使う(Windows® XP)

アプリケーションを確認する

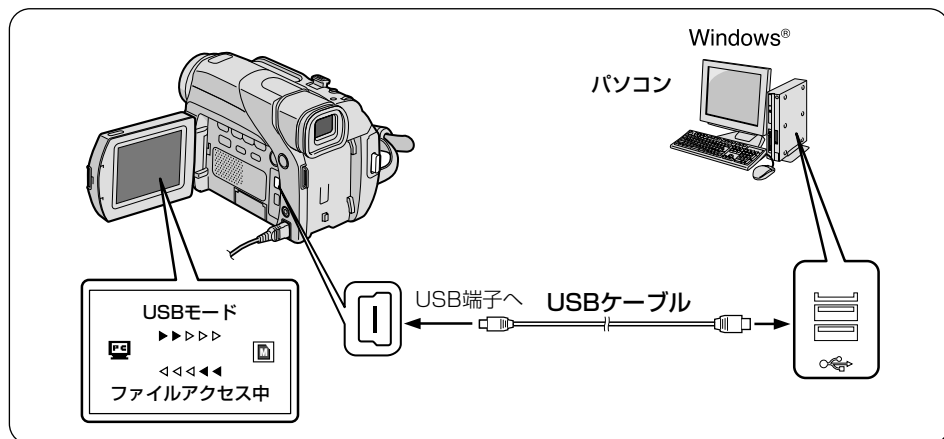
Windows® XP をお使いの場合、インターネット TV 電話に Windows® Messenger Ver4.6 以降を使うことができます。古いバージョンがインストールされている場合は、マイクロソフト社のホームページから最新版をダウンロードして、インストールします。

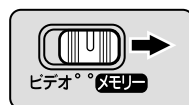
http://messenger.msn.co.jp
http://messenger.msn.co.jp/default.asp?client=0

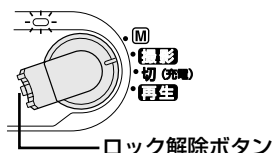
Windows® Messenger を使う場合、通話相手も同じアプリケーションを使う必要があります。通話相手が Windows® NetMeeting®を使う場合は、Windows® NetMeeting® 3.0 以降を使用してください（☞ P.91）。

最新情報については、ビクターホームページでも紹介する予定です。
http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/webcamera/faq.html

※インターネット TV 電話には、インターネットへ接続できる回線と、メールアドレスが必要です。あらかじめご用意ください。

TVカメラとして接続する

1 ビデオカメラの電源を切り、ACアダプターを接続する

2 ビデオカメラのモード選択スイッチを「メモリー」の位置に合わせる

3 ビデオカメラの電源ダイヤルを回し、「撮影」または「M」の位置に合わせる

ビデオカメラの電源が入ります。

4 USBケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する

ビデオカメラの液晶画面の右上にPCアイコンが表示されます。

アプリケーションを準備する

はじめて通話するときに必要な操作です。

1 インターネットに接続し、Windows® Messengerを設定する

- Windows® Messengerを立ち上げ、自分のアドレスなどを登録してください。詳しくは、Windows® Messengerのヘルプをご覧ください。

2 USBケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する（☞P.96）

3 Windows® Messengerの初期画面の「ツール」から「オーディオとビデオのチューニングウィザード」を開く

4「Victor PIX-MCV Audio Capture」を選択して「次へ」をクリックし、ビデオカメラからの画像が表示されることを確認する

5「次へ」をクリックし、マイクの設定を「Victor PIX-MCV Audio Capture」に、スピーカの設定をお使いのサウンドボードに設定する

- マイクの設定を「Victor PIX-MCV Audio Capture」に設定しているときは、「ヘッドホンを使用している」を選択できません。

6「次へ」をクリックし、スピーカー（ヘッドホン）を確認する

- 「テスト」をクリックして、使用するスピーカー（ヘッドホン）から音が出てくることを確認します。

7「次へ」をクリックし、マイクの音量を確認する

- ビデオのマイクに普通に話しかけて、緑色のバーが黄色の範囲に入ることを確認します。
- バーが振れないときは、手順２に戻り、ビデオカメラの電源を入れ直してください。

8「次へ」をクリックしてゆき、ウィザードを終了する

インターネットで通話する

1 インターネットに接続する

2 USBケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する（☞P.96）

3 Windows® Messengerサービスにサインインする

- あらかじめ通話する相手のアドレスを調べて登録しておきます。登録方法については、Windows® Messengerのヘルプをご覧ください。

4 Windows® Messenger画面で、自分を含めてオンラインになっている人がいることを確認する

- オンラインに自分以外に誰もいないときは、通話できません。

5 通話したい相手をマウスの右ボタンでクリックする

6 「ビデオチャットの開始」をクリックする

- 会話画面が表示され、相手の返答を待つ状態になります。
- 相手が「承諾」をクリックすると、TV電話が始まります。

ご注意

- 通話中はビデオカメラの電源ダイヤルを回さないでください。

- ダイアルアップルータやブロードバンドルータをご利用の場合は、ルータの取扱説明書をご覧ください。
- インターネットにダイアルアップ接続する場合でも、ファイアウォールやルータを介して接続すると正しくアクセスできません。
- Windows® Messengerが使用できるかどうかは、加入されているプロバイダにご確認ください。
- 通話中の画像や音声の品質は、通信回線の状態に依存します。

- ビデオカメラで再生している映像を、Windows® Messengerで送信することもできます。このときは、USBケーブルをテープから取り込むときの方法で接続します（☞ P.72）。

画像が映らないときは

Windows® Messenger バージョン 4.6 以降にアップグレードしてください

Windows® Messenger の最新版は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードできます。

http://messenger.msn.co.jp

http://messenger.msn.co.jp/default.asp?client=0

Windows® XP をアップデートしてください

「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」の「Windows Update」をクリックします。詳しくは、Windows® XP のヘルプとマイクロソフト社のホームページをご覧ください。

http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/

- 画像や音声を取り込めないときは、デバイスドライバを更新してください。（☞ P.103）

その他

付属のソフトウェアが正常に動作しない場合の対処方法などについて記載しています。

画像や音声を取り込めないときは（Windows®）

USB マスストレージクラスドライバ

インストールに関する注意事項

Windows® 98/98SE をお使いの場合、USB マスストレージクラスドライバをインストールする前にビデオカメラをUSB ケーブルで接続すると、異なるドライバがインストールされ、USB ケーブルを使って静止画ファイルをパソコンに取り込めなくなる場合があります。

対処方法

このような場合は、下記の手順にしたがってデバイスドライバを更新します。

ご注意
- USB オーディオ機器をパソコンに接続している場合は、その機器をパソコンから取りはずしてから次の操作を行ってください。

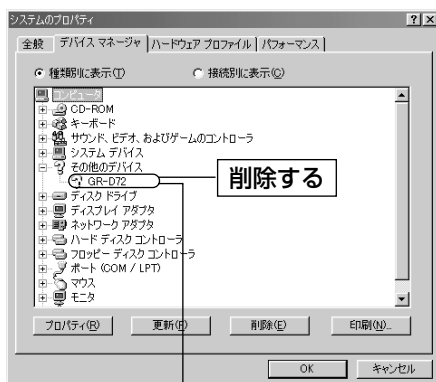
1 USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する(☞P.17)

2 「コントロールパネル」の「システム」を開く

3 「デバイスマネージャ」タブを選択する

4 「その他のデバイス」の中に「Victor」またはお使いのビデオカメラの型名がある場合は、削除する

5 ビデオカメラからUSB ケーブルを取りはずし、パソコンを再起動する

6 付属のCD-ROM をパソコンにセットし、「USB マスストレージクラスドライバ」をインストールする(☞P.14)

USB ビデオストリーミングドライバ

インストールに関する注意事項

USB ビデオストリーミングドライバが正しくインストールされていない場合、Windows® NetMeeting® や Windows® Messenger で画像や音声を取り込めなくなります。

対処方法

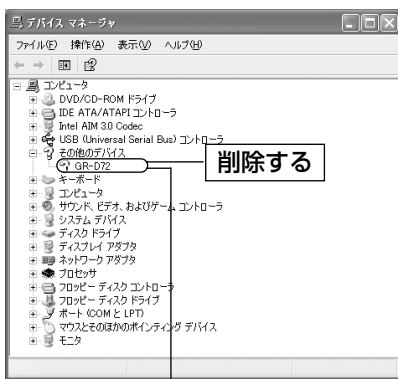
このような場合は、下記の手順にしたがってデバイスドライバを更新します。

- USB オーディオ機器をパソコンに接続している場合は、その機器をパソコンから取りはずしてから次の操作を行ってください。

1 **USB ケーブルで、ビデオカメラをパソコンと接続する(☞P.92)**

2 **「コントロールパネル」の「システム」を開く**

3 **「デバイスマネージャ」を開く**

- Windows® 98/98SE/Me の場合　：「デバイスマネージャ」タブを選択します
- Windows® 2000/XP の場合　：「ハードウエア」タブを選択して「デバイスマネージャ」を開きます
- 「その他のデバイス」や「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」の中に「Victor」またはお使いのビデオカメラの型名がある場合は、それを削除します。

お使いのビデオカメラの機種名が表示されます。

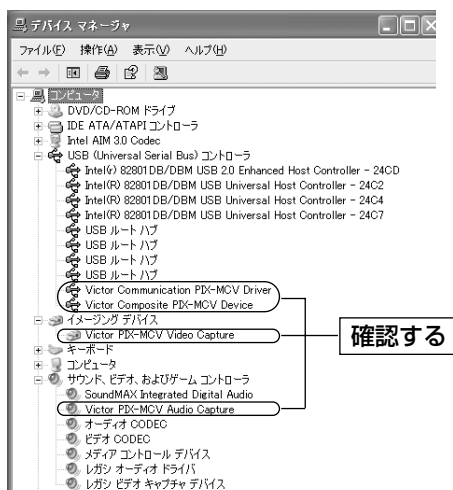
お使いのビデオカメラの機種名が表示されます。

次へ続く

4 ビデオカメラからUSBケーブルを取りはずし、パソコンを再起動する

5 付属のCD-ROMをパソコンにセットし、「USBビデオストリーミングドライバ」をインストールする(☞P.87)

6 手順2～3の方法で「デバイスマネージャ」を開き、次のデバイスが表示されることを確認する

- 「イメージングデバイス」の中 ：「Victor PIX-MCV Video Capture」
- 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の中 ：「Victor PIX-MCV Audio Capture」
- 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の中 ：「Victor Composite PIX-MCV Device」と「Victor Communication PIX-MCV Driver」

こんなときは

こんなとき	ご確認ください	参照
USB ケーブルを接続しても何も表示されない	• ビデオカメラに AC アダプターが接続され、電源が入っていることを確認してください。 • USB ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。 • 電源付きの USB ハブを使うか、パソコン本体の USB 端子に接続してください。 • Windows® が USB 端子を認識していない場合があります。コントロールパネルの「システム」のプロパティで、ユニバーサルシリアルバスコントローラを使用可能に設定してください。	P.17 P.29
ファイルをコピーまたは保存できない	• コピー先または保存先のドライブに十分な空き容量があることを確認してください。 • コピー先または保存先のドライブが書き込み禁止に設定されていないことを確認してください。 • コピー先または保存先に同じ名前のファイルがないか確認してください。 • 電源付きの USB ハブを使うか、パソコン本体の USB 端子に接続してください。	−
フォト・ナビゲーターに静止画を読み込めない	• 静止画データの形式によっては読み込めない場合があります。ほかの画像作成・加工ソフトでビットマップ形式または JPEG 形式に変換してください。 • フォト・ナビゲーターをインストールしたドライブに十分な空き容量があることを確認してください。	−
静止画がモザイク状になる	• 小さな画像を読み込んで拡大して表示すると、モザイク状になります。 • 画質(JPEG 品質)を低く設定して保存または形式変更すると、モザイク状になります。	−
パソコンの色がおかしい	「ディスプレイ」のプロパティで 256 色以下に設定していると正常に表示されません。	−
映像の動作が不自然になる	お使いのパソコンのハードウェア構成と性能、再生テープの状態によって、なめらかに表示できないことがあります。	−
アプリケーションの使用中に不具合が生じた	パソコンを再起動してください。	−
ファイルの情報表示などに、正しい作成日が表示されない	撮影したときに作成日が入っていないファイルは、作成日が正しく表示されません	−
ImageMixer のインストール中にエラーが発生した	図のエラー画面が表示された場合は、「OK」ボタンを押すとインストールを完了できます。 Windows Digital Rights Management Client Update Command line option syntax error. Type Command /? for Help. OK	P.62

その他

こんなとき	ご確認ください	参照
フォト・ナビゲーターで「メール添付」機能が動作しない	• Outlook Express をお使いの場合は、Internet Explorer 5.5 以降へバージョンアップ（標準インストール）してください。 • メールソフトによっては、「MAPI クライアントに設定」または「MAPI アプリケーションから使う」などの設定が必要になる場合があります。	ー
ImageMixer で画像変換や編集などができない（Macintosh）	ImageMixer のメモリの割り当てを増やしてください。	ー
ImageMixer で、操作中に音や画像がでない（Windows® XP）	Windows® と ImageMixer の各種設定を変更してください。それでも改善されない場合は、お使いのパソコンに搭載している各種ハードウェアのドライバを Windows® XP に対応した最新版にアップデートしてください。最新版のドライバは、各ハードウェアメーカーのホームページからダウンロードしてください。	ー
「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示された（Windows® XP）	ケーブルを取りはずし、ドライバをインストールしたときに接続した端子に接続し直してください。	ー
パソコンが節電状態から復帰しない	• ケーブル（USB ケーブル、DV ケーブル）を取りはずし、パソコンを再起動してください。 • 上記のケーブルを接続しているときは、節電機能（サスペンド、レジューム、スリープなど）をオフにしてください。	ー
市販のアプリケーションソフトで、DV キャプチャやビデオカメラへの書き戻しができない。	USB ケーブルをビデオカメラに取り付けていたら、取りはずしてください。DV ケーブルと USB ケーブルは、ビデオカメラへ同時に接続できません。	ー

五十音順索引

お問い合わせの際は

ご連絡していただきたい内容

電話またはEメールでお問い合わせの際は、下記内容をお伝えください。なお、Eメールの場合は、ビクターホームページの「お問い合わせ・サポート情報」をクリックしてください。
《ビクターホームページ：http://www.jvc-victor.co.jp/》

<table>
<tr><td colspan="2">ご利用のビデオカメラ（型名）</td><td>GR-　　（GR-D72など）</td></tr>
<tr><td colspan="2">故障の状況</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">エラーメッセージの内容</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="6">パソコン</td><td>メーカー名</td><td></td></tr>
<tr><td>機種名</td><td>□デスクトップ　□ノート</td></tr>
<tr><td>CPU</td><td></td></tr>
<tr><td>OS</td><td></td></tr>
<tr><td>メモリ容量</td><td>MB</td></tr>
<tr><td>ハードディスク空き容量</td><td>MB</td></tr>
<tr><td colspan="2">お買い上げ日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="2">お　名　前</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ご　住　所</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">電 話 番 号</td><td>（　）　－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファックス番号</td><td>（　）　－</td></tr>
</table>

ご質問の内容によっては回答までにお時間がかかることがありますので、あらかじめご了承ください。なお弊社（日本ビクター）では、ご使用のコンピュータについての基本的な操作方法、OS、他のアプリケーション、ドライバの仕様やその動作に関する事項などについては、一切お答えできません。

ImageMixer に関するお問い合わせ先

ImageMixerのご使用方法、ご質問、ご相談につきましては、下記のユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

株式会社　ピクセラ　ユーザーサポートセンター
住所　〒590-0985　大阪府堺市戎島町 4-45-1 ポルタスセンタービル
Phone　072-224-0181
受付時間　10:00～13:00、14:00～17:00（年末年始、祝祭日、所定定休日を除く）
Fax　072-224-7177
受付時間　24 時間受付

メールでのサポートは行っておりません。ご質問や操作方法に関するお問い合わせは、ユーザーサポートセンターまでお電話か FAX にてご連絡ください。
ピクセラホームページ： http://www.imageMixer.com/

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング**	本製品についての技術的なお問い合わせは **DVご相談窓口**
ビデオカメラの取扱説明書の 「ビクターサービス窓口」をご覧ください。	電話：(045)450-2770

お買い物情報や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

東京 電話：(03) 5684-9311
FAX：(03) 5684-9317
〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル

大阪 電話：(06) 6765-4161
FAX：(06) 6765-4891
〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

M4D1　0903-FO-HT-OT